

ほけんだより 4月号

令和5年4月1日
認定こども園どんぐり
看護師 大久保
古川

入園・進級おめでとうございます❀

今年度も、子どもたちが健康で元気いっぱいの園生活を過ごせますよう、保健行事のお知らせや、お子様の健康に関することなどをお知らせしていきます。どうぞよろしくお願ひ致します(^^♪

健康状態の情報交換をしましょう！

頭が痛い、お腹が痛い、、



何となく体調が悪そう、転んでけがをした、頭をぶつけた、体調で不安なこと、病院受診した方がいい？何科に行ったらいいだろう？など不安なことがたくさんあると思ひます。軽い症状、小さなけが、どんなことでも構ひませんのでご相談下さい。子どもたちの健康について一緒に考えていきたいと思ひます。



登園前の健康チェック

園では毎朝、登園してきたお子様の健康観察を行っています。ご家庭でも、登園前は次のようなポイントでチェックを試みましよう。少しでも気になる症状があればお知らせください。

- 熱はありませんか？
- 顔色は良いですか？
- 鼻水や咳は出ていませんか？
- 湿疹、発疹はないですか？
- 食欲はありますか？
- うんちはでましたか？
- 機嫌はよいですか？
- 「痛い」「疲れた」などの訴えはありませんか？

身体測定について

毎月、クラスごとに身体測定を行っています。身体発育、栄養状態を観察するほか、大きくなっていくことをお子さまと確認し合ひ、自分の体に興味・関心を持ってもらうことを目的にしています。今年度から連絡ノートへの記載と胸囲の測定は行ひません。身長・体重につきましては、れんらくアプリの「身体計測」で確認できますので、ご活用ください。

(自分のお子さまの記録のみご覧頂くことができます。)

年間の保健行事のお知らせ

- ・ 6月15日(木)：歯科健診
- ・ 6月29日(木)：内科健診①
- ・ 10月12日(木)：内科検診②
- ・ 7月中旬頃：視力検査
(ぎつね組、くま組のみ)
- ・ 毎月：各クラス身体測定
- ・ 森よう、各クラス歯磨き指導



☆体調不良による欠席及び早退について☆

- ・ 登園前、登園直後の検温で37.5℃以上の熱がある際はお預かりできません。(毎朝ご自宅での検温もお願いします)
- ・ 登園後、37.7℃以上の発熱があった場合、ご連絡しますので、お迎えをお願い致します。(熱性けいれんがあるお子様は37.5℃でお迎えになります)また、ご兄弟は症状がない場合はお預りできますが、感染症によっては一緒に早退、欠席をお願いすることがありますので、ご了承下さい。
- ・ 前日に発熱があった、または早退した場合、登園は可能ですが、体力の低下・食欲不振、再度熱が上がる等、前日に続き体調不良が見られることも多いため、本調子でない場合、翌日はお休みし、ご自宅での静養をおすすめします。また登園後、体調不良が見られた場合はお迎えをお願いしますのでご理解下さい。
- ・ 咳症状がひどい時、発熱がなくても、活動に参加できない、食事が摂れない、午睡ができない、午睡途中で起きてしまう、嘔吐した等の場合は、お迎えをお願いすることがあります。
- ・ 下痢をしている時、軟便が3回以上出る、水様便・泥状便が1回以上出た、腹痛が続く等、腹部症状があった場合もお迎えをお願い致します。
- ・ コロナ感染症については、引き続き本人、兄弟、家族が罹患された場合は、7日間のお休みとさせていただきます。
(分類が下がり、対応状況が変わりましたら、ご連絡致します)
※溶連菌などの感染症で兄弟が予防薬を処方された際も罹患児同様、抗生剤を服用し、24時間経ってからの登園をお願い致します。

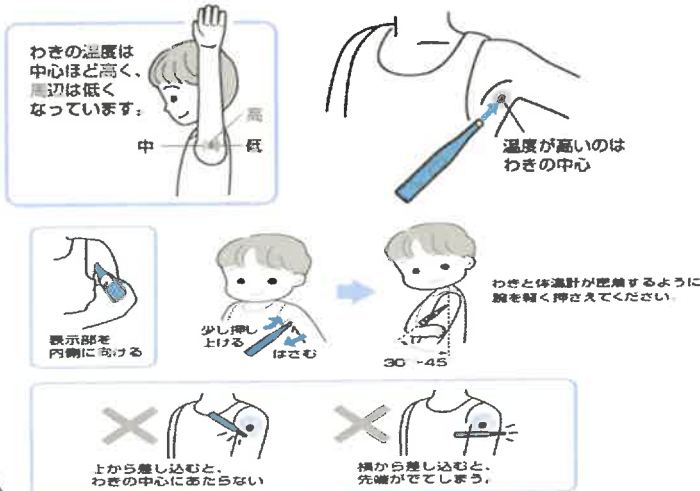


*****園での発熱時の対応について*****

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> 朝から37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。(37.5℃を含む) 食欲がなく朝食・水分が摂れていない。 24時間以内に解熱剤を使用している。 24時間以内に38℃以上の熱が出ている。 前日に38℃以上の発熱で早退した。(登園しても再度早退になる事が多い為) 	<ul style="list-style-type: none"> 前日38℃を超える熱が出ていない。 熱が37.5℃未満で元気があり、機嫌がよく、顔色も良い。 食事・水分が摂れている。 排尿の回数が減っていない。(脱水になっていないかという事) 咳や鼻水を認めるが憎悪していない。 24時間以内に解熱剤を使っていない。 発熱を伴う発疹が出ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 37.5℃以上ある場合(37.5℃も含む) 食欲がなく、水分が摂れない。 顔色が悪い。元気がなく機嫌が悪い。 排尿回数がいつもより減っている。 その他の不快症状(味・鼻つまり・鼻水・腹痛・下痢・吐気・嘔吐・寒気など)が伴っている。 *熱性けいれんの既往児は37.5℃で至急お迎えをお願い致します。

正しい体温の測り方

- 体温計はわきの中心にあてる
- 体温計を下から少し押し上げるようにして、わきをしっかりとしめる。



〇きのご組のみなさまへ

0歳児クラスのお子様は、大きなクラスのお子様比べて体調を崩しやすく、また、重症化しやすいため、なかなか良くならなかったり、入院になってしまったりと、保護者のみなさまはもちろんのこと、私たちもとても心配です。

集団生活ではたくさんの菌があり、色々な感染症に感染しやすい場でもあります。

早期発見、早めの対応を考え、また、登園後すぐにお迎えをお願いすることが多いため、0歳児クラスでは登園時に保護者の方がいる前で検温させて頂いています。その際に熱が37.5℃以上あった場合はお預かりすることが出来ませんので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

お薬について・・・どんぐりでは、園内での投薬は積極的に行っておりません。事故防止の観点からも集団生活を行う保育園での投薬は、出来るだけ避けるべきと考えております。やむを得ず園での投薬が必要となる場合は、以下の投薬規則をご理解、同意を頂いた上で投薬させて頂きたいと思っております。

- ①主治医の診察を受けるときは、お子様が保育園に在園していることと、**保育園では原則として薬の投薬ができないこと**をお伝え頂き、**可能であれば一日2回(朝、夕)に出来ないか、担当医師にご相談をお願い致します。**
- ②園にお薬を持参する際には必ず、下記の物をご準備下さい。(揃っていない場合はお預かりできません)

- 投薬依頼書
- 薬剤情報提供書またはお薬手帳**(医師が処方したもの。お薬持参時は毎回一緒にお出してください。過去の処方箋は投薬できません。また現在の処方箋でも処方日数を過ぎた薬は投薬できません)
- お薬は1回ずつに分け、当日分のみご用意ください。
- お薬を持参の際は必ず**名前(フルネームで)**を書いて下さい。
⇒薬を入れてきた袋、粉薬の袋、水薬の容器、軟膏・目薬の容器
- 粉薬の袋はプライバシー保護、間違いなく投薬したことの証明のためお返ししています。
- 頓服(咳止め、解熱剤、鎮痛剤、解熱用の漢方、予防のための軟膏)はお受けできません。

